

5 賃金・労働費用

第5-14表 規模間賃金格差（全産業、2006年）

Table 5-14: Wage gap by establishment size in all industries, 2006

国/Country		企業規模(人)/establishment size (employees) (1,000人以上=100)(over 1,000 people = 100)					
		計/all size	5~29	30~99	100~499	500~999	1,000~
日本	JPN	64.0	51.2	63.7	76.2	91.8	100.0
(製造業/manufacturing)		(67.4)	(48.5)	(57.6)	(73.9)	(86.6)	(100.0)
		1~9	10~49	50~249	250~499	500~999	1,000~
アメリカ	USA	56.6	59.5	70.7	78.7	86.5	100.0
(製造業/manufacturing)		(64.4)	(66.9)	(70.8)	(73.0)	(78.6)	(100.0)
イギリス	GBR	84.3	93.0	102.0	104.8	109.0	100.0
ドイツ	DEU	64.2	68.8	75.9	82.8	91.1	100.0
フランス	FRA	—	85.2	89.4	96.8	98.4	100.0
イタリア	ITA	—	72.5	83.3	89.5	96.7	100.0
スウェーデン	SWE	—	100.6	102.8	106.7	104.7	100.0

資料出所 日本:厚生労働省(2007.6)「平成18年毎月勤労統計調査」

アメリカ:U.S. Census Bureau(2005) *2002 Economic Census*

その他:EU(2009.7) *Structure of Earnings Statistics 2006*

- (注) 1) 規模区分は日本とアメリカは事業所規模で, EUは企業規模。  
 2) 日本は常用労働者の現金給与総額(total cash earnings), EU各国は月間平均賃金総額(mean monthly earnings), アメリカは年間給与総額(annual payroll)を雇用者数で除したのからそれぞれ指数を作成。  
 3) 日本の全産業は, 調査産業計の値。アメリカの全産業の値は, 入手可能な産業の数値を集計して作成。日本, アメリカともに農林水産業は含まない。  
 4) アメリカは2002年。

第5-15表 所得のジニ係数

Table 5-15: Gini coefficients of income inequality

国	Country	1990年代半ば Mid-1990s	2000年 2000	2000年代半ば Mid-2000s
日本	JPN	0.3235	0.3367	0.3205
アメリカ	USA	0.3614	0.3567	0.3814
イギリス	GBR	0.3540	0.3700	0.3350
ドイツ	DEU	0.2722	0.2698	0.2981
フランス	FRA	0.2700	0.2700	0.2700
イタリア	ITA	0.3479	0.3432	0.3519
スウェーデン	SWE	0.2113	0.2426	0.2341
オーストラリア	AUS	0.3091	0.3172	0.3011

資料出所 OECD(2008.10) *Growing Unequal? Income Distribution and Poverty in OECD Countries*

(参考)

	2000	2003	2004	2005	2006	2007年/Year
日本	JPN	0.3997	0.3882	0.3999	0.3948	0.3981

資料出所 厚生労働省(2009.5)「平成20年国民生活基礎調査」

- (注) ジニ係数とは, 所得分配の不平等度を表す指標である。ジニ係数が0に近づけば平等に近づき, 1に近づけば不平等の度合が増す。